

令和元年8月30日(金)

秋の陣 その10

来年度末の大学入試改革については、様々な報道がされておりますが、英語4技能資格試験にかかわる英語検定協会の資格試験予備申し込みが、9月2日から始まることはご存知でしょうか。

予備申し込みは、3000円の申込金によって行われ、この申し込みがないと、来年4月から7月期の資格試験本申し込みが行われる1月からの申し込みができなくなるというのが大きなポイントです。

そもそも、英語4技能資格試験については、年2回の受験で良いほうの成績が使われます。現時点で、GTECか英検が主となることと考えます。その二つの業者ともに、4月から7月までと8月から11月までに少なくとも2回の受験ができるようになります。両方の業者を申し込んでおくことは可能です。その申し込みについては、英検において、9月に予備申し込み期間が設定され、1月からの申し込みの権利を取得することになりました。GTECについては今後発表される予定です。

さらには、11月に英語4技能資格試験の共通IDの取得も学校全体で行います。(個人でもできますが、住民票が必要です。)今の2年生ばかりではなく、3年生については、11月に書類を整えて、12月からのID取得申し込みに備える予定です。

そうして、新たな共通テストが来年度末に行われるわけですが、英語においては、リーディングとヒアリングの点数が1:1になるという発表もありました。現制度では、リーディング200点とヒアリング50点の割合であるところが、リーディング100点とヒアリング100点になるというのです。(その後、その配点は、各大学ごとに帰ることも可能だという発表もありました。)

また、国語と数学には、マークテスト以外の記述問題が課せられる予定です。国語は、3問程度、数学は、数式を含めての解答となるということです。

今後、様々な情報が出ると思いますが、一つ一つに右往左往せず、じっくりと第一志望校を見て対策を練ることが肝要です。

変革の時こそ、じたばたせず、本流を生きる志が大切だと思います。学びそのものは変わることがありません。迷わずに、まっすぐ突き進むことが今の大切な道筋です。

